

活動支援マニュアル策定指針修正点

マニュアル策定指針目次		頁	修正点
【Ⅰ 災害救援ボランティアと社会福祉協議会】			
1	頻発する災害とボランティア活動	2	・中部地震についての記載を追加 ・情報発信の必要性について明記
2	災害救援ボランティアセンターの原則	2	・被災者主体→被災者中心
		3	・住民の総合的な相談の受付、地域での住民やNPOなどの民間の動きに対する支援、連携の視点を追加
4	コミュニティワークと社会福祉協議会	4	・中部地震の記載を追加
5	鳥取県地域防災計画におけるボランティアと社会福祉協議会	5~6	・現行(平成27年度修正)の地域防災計画に合わせて修正
【Ⅱ 災害救援ボランティアの基本的視点と活動】			
2	災害救援ボランティア活動		
	(2)災害救援ボランティアの活動例	9	・車中泊をされている方等へも目を向けた活動が必要であることを明記。 ・災害の種類ごとに、それぞれの被害状況により判断していくことが必要であることを追記。
3	災害救援ボランティアセンターの機能と流れ		
	(2)災害救援ボランティアセンターの機能	16	・⑤総合相談機能を追加
	(3)災害救援ボランティアセンターの一日の流れ	16	・一日の流れを無理のない時間に修正。
		17	・市町村社協災害ボランティアセンター設置要綱(例)を追加提示 →職員体制について、各センターで柔軟に対応することを明記。また、センターの閉所後の支援体制の移行についても柔軟に判断することを明記
		18~19	・鳥取県内の社会福祉協議会 災害時の相互応援協定書を追加提示
【Ⅲ 災害救援ボランティアセンターの運営】			
1	災害救援ボランティアセンター設置への流れ		
	(1)初動体制の整備	22	・④災害救援ボランティアセンターの設置の判断を追加。市町村行政災害対策本部との連携を明示
	(2)災害救援ボランティアセンターの立ち上げ	22~23	・サテライトや広域拠点についての記載を追加 ・センターの設置場所・公共的建物等の例示を追加 ・中部地震の記載を追加
	(3)被災地以外の市町村社協の動き	26	・県内社協災害時の相互応援協定に基づく支援協力を追加
	(4)県社協の動き	27	市町村社協の災害VC立ち上げ運営支援について記載
2	災害救援ボランティアセンター設置基準		
	(1)判断材料	28	判断の材料の順位をつけないよう修正
	(2)判断基準(例示)	28	・過去災害例に東日本大震災、中部地震を追加 ・地域の支え合いの状況により判断することを明記

マニュアル策定指針目次		頁	修正点
3 災害救援ボランティア活動システム図			
		30	<ul style="list-style-type: none"> ・用語修正：地域福祉権利擁護事業⇒日常生活自立支援事業 ・災害救援ボランティアセンターのなかに「総合相談窓口」「訪問活動」を追加
4 災害救援ボランティアセンター組織体制			
		31	<ul style="list-style-type: none"> ・災害規模に応じて班の統廃合を行うなど機動的に活動できるようにすることを追加 ・総務班：パソコンによる台帳管理を明示 高速減免の対応を追加 ・情報発信班：マスコミへの報道提供、SNS等による情報発信例を明示 ・受付・登録班：総合相談窓口、総合案内を追加 ・別班として、訪問活動班を追加 ・派遣調整班→活動調整班に修正
5 業務内容			
(1)市町村社協災害対策本部		32	<ul style="list-style-type: none"> ・用語修正：地域福祉権利擁護事業⇒日常生活自立支援事業 ・高速減免措置についての記載を追加 ・BCPの策定についての記載を追加
(2)総務部門		33	<ul style="list-style-type: none"> ①総務班 ・(エ)資材の調達方法についての記載を追加 ・(オ)寄付金等の記録管理についての記載を追加 ・(カ)パソコンによる台帳管理についての記載を追加 ・(ケ)災害救援ボランティア車輛の高速減免措置対応を追加
		34	<ul style="list-style-type: none"> ②情報収集・発信班 (エ)広報紙→広報紙・ホームページ等による情報発信に修正 SNSの活用について記載し、以下「被災者への情報提供」「ボランティアへの情報提供」「マスコミへの情報提供」を(エ)に統合
(3)コーディネート部門		35～36	<ul style="list-style-type: none"> ①受付・登録班 (ア)ボランティア受付 ○先行受付 <確認事項>にボランティアバスの受入について記載 ○当日受付 i・ii 受付方法について修正 iv 登録証明書をシールに修正
		37	<ul style="list-style-type: none"> (イ)ニーズ受付 ・活動内容の範囲のスタッフ間での共通理解の必要性を記載 ・現地確認の必要性を記載

マニュアル策定指針目次		頁	修正点
(3)コーディネート部門		38	②派遣調整班→活動調整班に修正 (ア)依頼の調整 現地確認の必要性を記載 (イ)マッチング i はんば方式での呼びかけ方法に修正 ii 車両提供についての記載を追加 (ウ)グルーピング ii 携帯番号の控えをとることを追加 (カ)活動報告 継続ケース記録票→ボランティア活動報告書に修正 住宅地図等に記入することを追加
		40	③車両・送迎班 ・車両貸出の管理の一覧表の作成について記載 ・「(ウ)ボランティアによる車両の運転について」を追加 ・「※別班 訪問活動班」を追加
7 書類の流れ(受付～活動～完了)			
		42~43	・用語修正:「派遣」→「活動」 ・総務班:PC入力、管理を明示 ・ボランティア登録証明書→「ボランティア活動者用シール」に修正
IV「復興期の支援」(追加)		44~45	・内容 ○災害ボランティアセンターから支援体制の移行 ・移行判断の観点 ○災害ボランティアセンター後の支援体制 ・復興センター ・社協ボランティアセンターや平時のネットワーク ○復興期の支援内容
V 【防災・減災への備え平常時からの取り組み】			
1 要支援者のネットワークづくり			
	(1)福祉台帳等の整備	46	・要支援者→支援者に修正 (1)「福祉台帳等の整備」→「支援が必要な方の情報の把握」に修正 例として台帳、マップ作りを挙げる。
	(2)小地域での見守り支援体制づくり	46	・自治会外での支援体制や企業との連携について記載
【VI 活動様式】			
	災害救援ボランティアオリエンテーション資料	52	4 災害救援ボランティア活動1日の流れ ・ボランティアオリエンテーションを追加 ・活動の選択②をボランティアへの呼びかけによる募集へ修正 ・グループ編成、オリエンテーション ②③削除 ④リーダー、サブリーダーの互選について追加 ・活動及びニーズ把握 ⑦活動終了時刻を明記
	ボランティア先行受付票	53	・「ボランティア先行受付票」 →「ボランティア先行受付票(団体)」に修正

マニュアル策定指針目次	頁	修正点
ボランティア受付票(個人)	54	<ul style="list-style-type: none"> ・新規、継続の受付欄を追加 ・資格、特技の例示を追加(建築士、整体師、配管技士) ・血液型の欄→削除 ・活動車両への資材の積載について追加
ボランティア受付票(団体)	55	<ul style="list-style-type: none"> ・「その他特記事項」欄を追加 ・活動保険加入状況欄「加入/未加入」→「済/未」に修正
ニーズ受付票(派遣依頼)	57	<ul style="list-style-type: none"> ・「派遣」→「活動」に修正
ボランティア募集票		削除
ボランティア活動報告書	58	<ul style="list-style-type: none"> ・「派遣」→「活動」に修正
継続ケース記録票		削除
災害救援ボランティア活動証明書	59	<ul style="list-style-type: none"> ・活動場所等を追加
【Ⅶ 参考資料】		
ボランティア活動保険と大規模災害時の保険加入	73	<ul style="list-style-type: none"> ・最新情報に更新(平成29年度版ボランティア活動保険の手引きより引用)
防災関係(鳥取県防災局ホームページより)	80	<ul style="list-style-type: none"> ・引用先変更(首相官邸HP:防災の手引き～いろいろな災害を知って備えよう～)